

日本維新の会の辻信行でございます。

早速、質問に入らせていただきます。

あま咲きコインを活用した地域産業の発展及びキャッシュレスの推進についてお伺いします。

物価高騰対策のプレミアム付キャンペーンは、5 回の実施で 10 万人以上、1300 店舗以上が参加し、58 億ポイントが流通しました。しかし、国の交付金で資金を支えており、今後の資金調達が課題です。加盟店手数料の徴収が検討されていますが、それには利用者数と加盟店数の増加が重要です。さらなる利用促進のために、利用者データを分析し、PDCA サイクルを回して戦略を練る必要があります。

1-1)お伺いします。

累計 10 万人の登録者がいる中で、令和 4 年度の実際の利用者数は 64,303 人でした。この約 6 割の利用者の方の分析、例えば年齢や性別、その用途や使用頻度など、そして逆に、継続利用に至らなかった人の要因分析などはされているでしょうか。本市のお考えをお聞かせください。

次に、加盟店の拡大について、先日の決算特別委員会では、目標だった 1000 店舗を超えたのでこの程度で良いのではと考えているという担当課からの答弁がありました。市内事業者 5,000 店舗程度ある中で、目標の更新は必要ではないでしょうか。

1-2)お伺いします。

持続可能なコインにしていくためにも、加盟店数の更なる高い目標を掲げ拡大していくべきだと考えるが、ご見解をお伺いします。

次に、あま咲きコインの事業費は 4 億円を超えるため、流通金額が令和 4 年度は 22 億円だったことを考えると、加盟店手数料だけではやはり収支は合わせるの難しいかな、と考えています。

1-3)ここで伺います。

この事業費の捻出に向けて、次年度取り組んでいきたいと考えていることを教えてください。

最後に、本市においては、地域経済の活性化に資する予算は、メインのあま咲きコインと少しのメニューしかなく、本市の経済規模から考えると非常に少ないものと考えますが

1-4)ここで伺います。

国や県のサポートだけではなく、尼崎市が独自で支援策を打って
いくことも重要であると思うが、本市の考えをお聞かせください。

本市における観光地域づくりの推進について伺います。

2025 年の大阪・関西万博に向けた取組みがさまざま進んでおり、観光地域の整備も行われています。その中でも、尼崎城の改善が急務だと感じています。今年度、小学生向けの夏休みイベントなどで有料入場者数を前年比 1.5 倍に増やしましたが、地域経済の発展を考えると、市外からの訪問者を増やす必要があります。尼崎城の門のデザインやデジタルコンテンツの改善に関しては、方向性が不明確なままです。これらの課題に取り組み、観光地域の魅力を向上させる必要があります。

1-1)ここで伺います。

尼崎城と地域一体の更なる魅力向上のため、こういったテーマや
方向性で進めているのか、改めて教えてください。

次に、あまがさき観光局が主催する運河クルーズが兵庫フィール

ドパビリオンに認定されました。尼崎の海と風を肌で感じる事ができる素敵な取り組みで、参加した市民のほとんどに大好評の取り組みになっています。こういった市外の方になかなか知られていない尼崎の魅力を発信をしていくことが非常に重要だと考えます。

1-2)ここで伺います。

兵庫フィールドパビリオンの取り組みを活かし、どんどん魅力の発掘に取り組んでいただきたいと思うが、現在の取組状況を教えてください。

尼崎市南部は、大人も子供も楽しめるアクティビティが豊富な魅力的なエリアです。運河クルーズ、釣り、BBQ、野球、サッカー、SUP、アイススケート、プール、森の環境教育、尼ロックの防災教育など多彩なアクティビティがあり、このエリアを一体的なテーマパークとして発展させることが大きな課題です

1-3)ここで伺います。

本市南部の豊かなアクティビティを「一体的」にまとめ、PRできるような取り組みを進めていくべきではないでしょうか、本市のご見解をお伺いします。

町会灯助成事業費についてお伺いします。

これまで丁寧に取り組みを行っていただいた担当職員の皆様に感謝申し上げます。

市内にある町会灯のうち、公益性の高い公道を補完するような、私道に設置されている町会灯で、まだ LED 化されていないものを対象として、LED 化更新工事の一部を助成していただいております。また新たに電気代の支援も実施していただき、町会の事務の負担を軽減していただきます。しかし、市内にある全町会約 600町会のうち79の町会367灯しか助成を行っていません。各町会への郵送や市報やホームページへ掲載していただいております。この状況をどのように受け止めておられますか。

また LED 化した町会灯は電気代も支援していただけますが、いっそ町会灯の管理を町会ではなく市で行うことはできないのでしょうか。本市のお考えをお聞かせください。

更にこの事業の対象となった町会、対象とならなかった町会の意見を具体的にお聞かせください。

次に、エリアブランディングの推進についてお伺いします。

本市には、阪神電鉄・JR・阪急電鉄、13の駅があります。駅前広場の整備は、ファミリー世帯に住んでいただくためにも、地域の活性化、防犯等のためにも必要です。

駅前整備を行った駅、今から整備を進めていく駅、周辺の住民の意見を聞きながら進めていると思います。それぞれについて、意見の聞き方などを具体的にお聞かせください。

尼崎宝塚線(阪急立体交差)についてお伺い致します。

新設の阪急電鉄立体交差では、南側を線路沿いに東西に抜ける市道になります。しかしながら武庫之荘駅西側の武庫之荘西踏切の渋滞が今でも危険な待ち合わせ状態にありますが、この道が完成すると更に渋滞が予想されます。

そこでお伺い致します。

本市は、その交通対策をどのように考え、阪急電鉄とは大庄武庫線の踏切設置等も含めどのような話し合いが行われていますか。

次に、県施工街路事業園田西武庫線御園工区等についてお伺いします。

御園工区は、令和5年度には完成せず1～2年延伸するとお聞きしていますが、藻川工区は、周辺住民の皆様の合意を受けて工事を進めていきますと聞いています。それぞれの進捗状況をお聞かせください。

またどちらかの工区が完成したら先に開通させる予定はありますか？

次に、尼崎市路線バス運行についてお伺いします。

路線バスの運行経路や運行時間の問題の意見は多数伺います。園田西武庫線のように新たに東西の路線が開通するとバス路線の変更をしなければなりません。阪神バスと話し合いを進めていただいていると思いますが、進捗状況をお聞かせください。地元住民の方々や町会には事前に周知しながら進めていただきたいと思いますがご見解をお聞かせください。

次に、地域防災力の向上についてお伺いします。

劣化が見られる避難誘導板ですが、全市に1,225枚設置しており、サンプリング調査を行った結果、ほぼ全数が劣化している状況と判断したと聞きました。

老朽化しているものについては、早急に取り換える必要があると考えます。さらには、今後の避難行動を促進していくためにも更新された誘導板について、市民周知を図る必要があると考えますが、ご見解をお聞かせください。

以上をもちまして、日本維新の会の総括質疑を終わらせていただきます。本日までの分科会審査及び総括質疑におけるご答弁を踏まえまして、後の意見表明、採決に臨んでまいります。

御清聴誠にありがとうございました。